

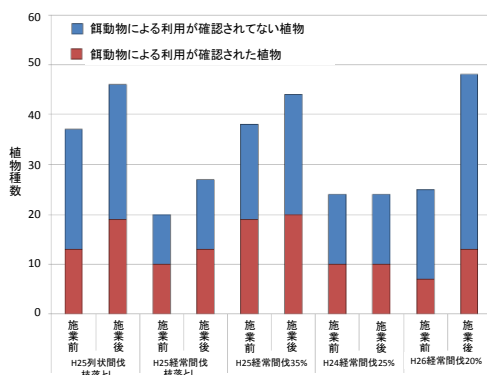
事例 「緑の回廊」等におけるクマタカの生息環境の保全に資する森林施業の確立に向けた調査の実施

東北森林管理局では、鳥海朝日・飯豊吾妻緑の回廊及びその周辺の国有林野において、希少猛禽類であるクマタカの生息環境の保全に資する森林施業の確立に向け、採餌環境改善を目的とした施業の調査を実施しています。

平成 24 年度に試験的に枝落としの有無や伐採率の異なる間伐等を行う試験地を設け、以降、クマタカの餌となる動物が利用する植物の生育状況調査を継続して行っています。その結果、概ねどの試験地においても、施業を実施することで餌動物が利用する植物の種数が増加する傾向が見られました。

今後も、調査データの蓄積等に努めるとともに、クマタカの新たな営巢情報等の把握に努め、クマタカの生息環境の保全と森林施業との調整を図ることとしています。

(東北森林管理局)



場所：山形県最上郡真室川町 小荒沢山国有林ほか

説明：図表は、施業前後の植物種数調査結果（左）、写真は、蛇を捕獲して飛翔するクマタカ（右）の様子です。